

H28年4月

～作品展は、いかがでしたか？～

2月中に開催していた作品展が終わりました。今回は、皆さんにより多く見ていただきたいと思い、2箇所で開催しました。患者図書室で活動しているボランティアさんに応援して頂き、作品のほかにがん予防の冊子やがん患者さんが食事に困った時用のパンフレット、患者さんのしおり等も配架しました。4階売店前は、外来及び入院患者さん、ご家族や職員も多数通行するところですので、意見や感想をたくさん伺ったり、資料も毎日追加して提供することが出来ました。がんと診断され、がんと共に生きる状況に置かれた方々の作品と文章をお読みになり、皆様はどのように考えられたのでしょうか？期間中、配架しておりましたパンフレット等は、患者図書室に置いてありますのでご利用下さい。

～よく読まれている図書をご紹介します～

1. 人体図鑑 消化管 2012年1月 日本医事新報社

人体の構造と機能を学ぶ事は、医学の基礎として最重要の事柄です。わかりやすい図解と詳しい説明が書かれていますが、患者さんは、難しいと言いつつも読まれています

2. 脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血 2009年10月 主婦の友社

年齢・性別に関係なく読まれています。若い方も意外におられますが、血圧が高かったり何らかの前ぶれがあっても深刻に考えなかったと言われていました・・・

3 医療福祉総合ガイドブック 2013年度版 医学書院

介護関連の事を調べに来て、読んでおられます

4. 最高に美しい人体図鑑 2014年1月 エクスナレッジ

1. と同様に人体について調べられています。解説が分かりやすいです

5 腰痛解消 神の手を持つ15人 2013年12月 現代書林

当院の職員より提供された本です。入院患者さんは、腰痛もあるんだ・・・と言っては読んで行かれます

～絵本について～

絵本もたくさんの子供たちに読んでいただけています！小さな子供の頃から健康教育は必要と思い、人の体や機能について、病気や伝染する病気について、それぞれの年代に応じて知ってほしいな・・・と考えています。頂いた声を参考に少しずつ本を入れておりますので、待ち時間の合間に足を運んでみてください！！